



MARS JOURNAL^{VOL.} 40

第52期 ● 年次報告書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

DXを推進し、持続的成長に向けた 基盤強化と価値創造の実現へ



株主・投資家の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。

当連結会計年度におきまして、当社グループは、アミューズメント関連事業、スマートソリューション関連事業、ホテル・レストラン関連事業の各事業を通じてお客様満足の最大化に取り組むとともに、DXの推進や人材価値の向上に注力し、経済産業省の「DX認定」を取得いたしました。今後も当社グループは、デジタル技術を活用した価値創造と持続的成長の

実現を経営の中核に据え、既存事業の強化と新規事業の創出を図ってまいります。

株主還元政策につきましては重要な経営課題のひとつであり、長期的な視野に立ち、配当性向30%を基準に安定的な配当の継続と適正な利益配分を行うことを基本方針としております。2025年度の1株当たり配当金は、150円（中間配当金75円、期末配当金75円）となりました。2026年度は、引き続き安定的かつ適正な配当として中間配当金75円、期末配当金75円、年間配当金150円（配当性向41.3%）を予定しております。また、本年5月に資本効率の向上及び株主還元の充実を図るため、発行済株式総数5%超の自己株式の取得を発表いたしました。

当社グループは、今後も成長投資と株主還元のバランスを重視した資本政策のもと、中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

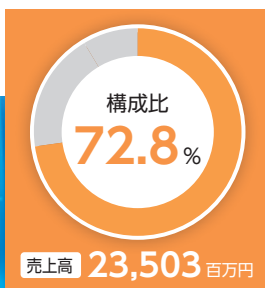
株主・投資家の皆様におかれましては、今後とも一層のご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社マースグループホールディングス
代表取締役社長 **松波 明宏**

● ● ● 当期の業績

雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が持ち直し、インバウンド需要も堅調に推移するなど、内需を中心に緩やかな回復基調で推移しました。一方で、長期化するウクライナ情勢、米国の通商政策の動向、中東情勢を背景とした資源・エネルギー価格の高騰等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。こうした中、当社グループはお客様の「満足」を追求し、DXを推進しながら新たな付加価値創出に取り組んでまいりました。当連結会計年度の業績は、売上高322億81百万円（前期比23.6%減）、営業利益87億95百万円（同28.7%減）、経常利益96億93百万円（同25.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益66億40百万円（同23.8%減）となりました。

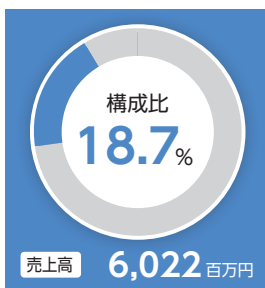
アミューズメント 関連事業



主な販売先であるパチンコ業界は、参加人口の減少や遊技機の高機能化に伴う設備投資の負担増加等、厳しい経営環境が続きました。パチンコホール数は減少している一方で1店舗当たりの平均設置台数は増加する等、店舗の大型化が進み、優劣がより鮮明になっております。

当社グループは、「EVOALL（エヴォール）シリーズ」を中心に、スマート遊技機対応ユニットやPOSシステム、クラウドサービス等、ホール運営の業務効率化と売上・利益の最大化を支援するトータルシステムでの提案・販売に注力しました。その結果、当関連事業の売上高は235億3百万円（前期比29.9%減）、セグメント利益は84億94百万円（同28.9%減）となりました。

スマートソリューション 関連事業

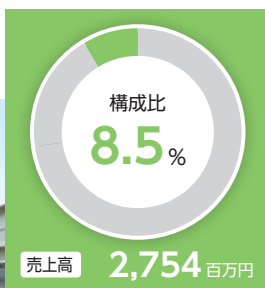


DXの拡大やAIの活用を背景に、作業の省人化・効率化が進捗し、AIとIoT連携による自動化の拡大で市場成長が期待されております。

当社グループでは製造・物流・医療領域を中心にAIやIoT技術を活用した製品・ソリューションの開発・販売に注力しました。また、AI画像認識システム「VisAI」シリーズや健診プラットフォーム「macmo」の機能拡充、省人化・無人化を実現する「Infinity Station」シリーズの開発・販売を推進しました。

この結果、当関連事業の売上高は、60億22百万円（前期比1.6%減）、セグメント利益は7億26百万円（同2.0%増）となりました。

ホテル・レストラン 関連事業



ホテル業界ならびに外食業界は、訪日外国人旅行者数の増加や円安を背景としたインバウンド需要の拡大により、観光需要は堅調に推移しました。一方で、人手不足の深刻化や人件費・食材・エネルギーコストの上昇、オーバーツーリズムへの対応等が課題となっております。ホテル事業では立地優位性を活かした集客施策や料金戦略の最適化、プロモーション施策等、収益基盤の強化や認知度の向上を図りました。レストラン事業においては高付加価値なメニューの提供や運営効率化を推進しました。

この結果、当関連事業の売上高は、27億54百万円（前期比5.1%増）、セグメント利益は87百万円（同16.4%増）となりました。

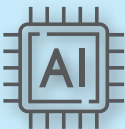
DXへの取り組み ～デジタルで進化するマースグループの成長戦略～

グローバル競争を勝ち抜き顧客価値を持続的に提供し続ける100年企業を目指します

マースグループは、デジタル技術を活用し、お客様満足の向上と社会課題の解決を両立する持続可能な成長企業を目指しています。事業を通じて新たな価値を創出し、100年企業への進化を進めています。

DX戦略の柱

① 事業ごとのデジタル変革の推進



- 店舗運営効率化を図るシステムの提供（※1）
- DX化を補助する提案型サービスの提供（※2）
- データ分析で顧客満足度の最大化（※3）

（※1）アミューズメント関連事業 （※2）スマートソリューション関連事業 （※3）ホテル・レストラン関連事業

② 全社横断のデジタル基盤整備



- データ連携基盤
- クラウド利用拡大
- グループ横断のIT標準化

③ 人材と組織の変革 (DX人材育成)



- DX推進委員会を中心した体制整備
- 社員研修の強化、スキル標準への対応

デジタル人材の育成

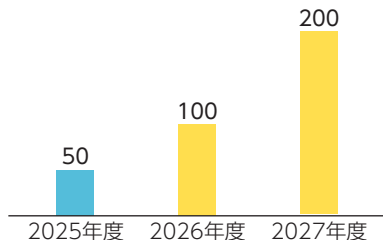
【目標】

2027年までに当社社員の約3割にあたる200名が、当社独自のDX資格「DXゴールド」を取得。

【DXゴールド】

当社が指定する関連資格の取得及びDX研修を修了し、ICT技術を活用したDX改革を実践できる人材

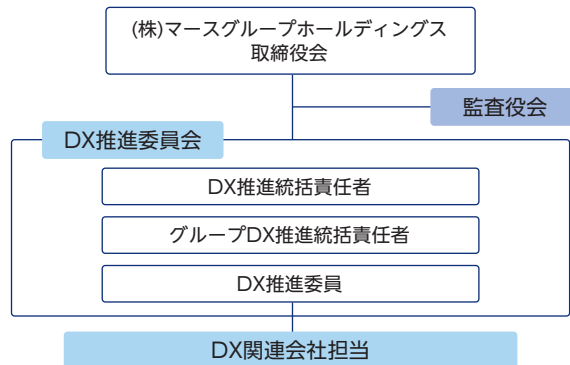
■ 当社独自のDX資格「DXゴールド」取得目標人数（単位：人）



DX推進委員会

DX推進委員会を中心に、グループ横断でDX施策の進捗管理と課題解決を行っています。

■ DX推進体制（組織図）



事業別ビジネスモデルの方向性

アミューズメント 関連事業

EVOALL
シリーズ
拡張による
店舗DX

故障予測AI
による
予防保守

会員アプリ連携・
キャッシュレス化



スマート ソリューション 関連事業

AI画像認識・
RFID・X線
検査装置による
自動化

IoT自販機の
導入拡大

医療特化クラウド
「macmo」による
医療現場のDX支援



ホテル・レストラン 関連事業

AI分析による
顧客嗜好の
可視化

予約～決済
までの
アプリ完結

ダイナミック
プライシングによる
収益最大化



外部評価



DX認定事業者（経済産業省）

当社は2026年3月1日付で、経済産業省が定める「DX認定事業者」に認定されました。
国が定める基準を満たすDX体制が評価されています。

サステナビリティ ～事業を通じて、持続可能な社会の実現に貢献～

当社グループは、経営理念に掲げる「事業を通じて社会に貢献する」ことを使命とし、環境・社会・ガバナンス（ESG）を意識した経営を推進しています。モノづくりを通じて社会課題の解決に資する製品・サービスを提供し、持続可能で豊かな社会の実現と企業価値の向上の両立を目指しています。



モノづくりを通じて
社会課題の解決に資する製品・サービスを提供

サステナビリティ推進体制（ガバナンス）

気候変動や資源問題が企業活動に与える影響を重要な経営課題と捉え、取締役会の監督のもと「**エコプロジェクト委員会**」を設置し、全社横断で環境負荷低減に向けた取り組みを推進しています。

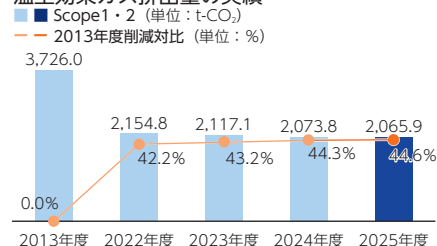
さらに2026年4月からは「**サステナビリティ推進室**」を新設し、ESG戦略の企画・推進やCSR活動の強化を通じて、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

環境への取り組みと目標

循環型・脱炭素社会の実現に向け、CO₂排出量や廃プラスチック削減に継続的に取り組んでいます。温室効果ガス排出量（Scope1・2）を算定・可視化し、2030年までに2013年度比46%削減を目標に設定。2025年度時点で44.6%削減を達成するなど、着実に成果を上げています。

今後も社員一人ひとりの環境意識向上と実効性ある施策により、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

温室効果ガス排出量の実績



社会貢献 ～マースグループの社会貢献～

マース奨学財団の活動に賛同

公益財団法人マース奨学財団は、品行方正、成績優秀でありながら、経済的理由から修学が困難な学生を奨学援助することで、将来グローバル社会に貢献し得る有用な人材の育成支援を行っています。当社グループは、この活動に賛同し支援しています。



2025年度採用実績

30大学66名

※累計で448名の
奨学生を採用

健康経営 ～マースグループの健康経営～

健康経営への取り組みが高く評価。
主要認定を多数取得



当社グループは、社員の健康を重要な経営資源と位置づけ、長年にわたり健康経営を推進してきました。2025年度も、その取り組みが多方面から評価され、複数の認定・表彰を獲得しています。

2025年度認定実績

1 健康経営優良法人（大規模法人部門・中小規模法人部門）

2026年3月9日、経済産業省及び日本健康会議による「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」において、当社は9年連続（9回目）の認定を受けました。

グループ会社では、マーストーケンソリューションが7年連続（7回目）、マースウインテックが2年連続（2回目）で中小企業部門の認定を取得しています。



2 スポーツエールカンパニー

スポーツ庁による認定制度で、マースグループホールディングスとマーストーケンソリューションが「スポーツエールカンパニー2026 ブロンズ+」に、マースウインテックが「スポーツエールカンパニー2026+」にそれぞれ認定。



3 東京都スポーツ推進企業

東京都の認定制度において、当社は2025年12月に「東京都スポーツ推進企業（令和7年度）」に認定。2020年から6年連続での選定となりました。



4 ハタラクエール

福利厚生充実を評価する「ハタラクエール2026」において、当社は福利厚生推進法人として4年連続4回目の認証。非正規社員も含めた幅広い福利厚生の提供姿勢が高く評価されました。



5 銀の認定

マースエンジニアリング、マーストーケンソリューション、マースウインテック、マースプランニングの4社が、健康優良企業の証である「銀の認定」を取得。社員の健康を経営資源と捉え、組織的に健康づくりに取り組んだ成果として評価されています。



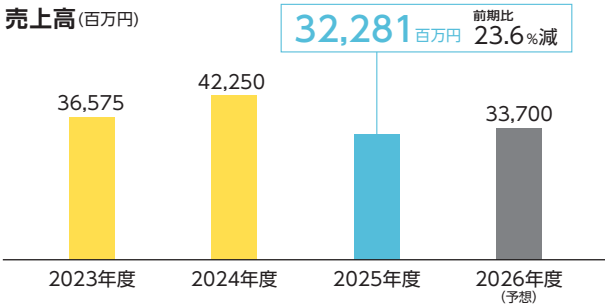
Consolidated Financial Highlights

連結財務ハイライト

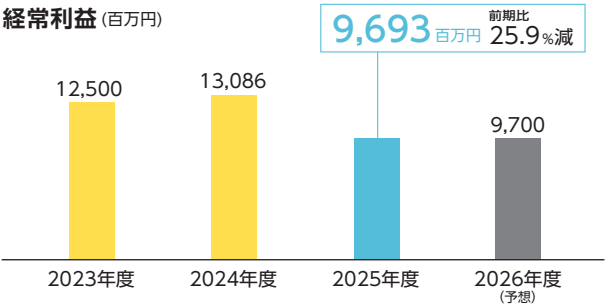
主要財務データ

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度予想
売上高	36,575 百万円	42,250 百万円	32,281 百万円	33,700 百万円
営業利益	11,694 百万円	12,331 百万円	8,795 百万円	8,950 百万円
経常利益	12,500 百万円	13,086 百万円	9,693 百万円	9,700 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	8,585 百万円	8,716 百万円	6,640 百万円	6,700 百万円
1株当たり当期純利益	499.89 円	475.74 円	359.92 円	363.18 円
総資産	83,956 百万円	87,000 百万円	94,262 百万円	—
純資産	71,254 百万円	78,230 百万円	85,733 百万円	—
1株当たり純資産	3,975.65 円	4,241.83 円	4,647.27 円	—
1株当たり配当	150.00 円	195.00 円 (創立50周年記念配当50.00円含む)	150.00 円	150.00 円

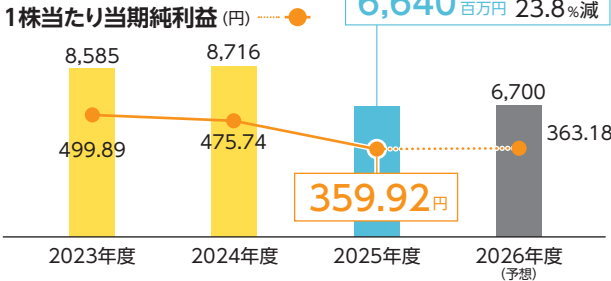
売上高 (百万円)



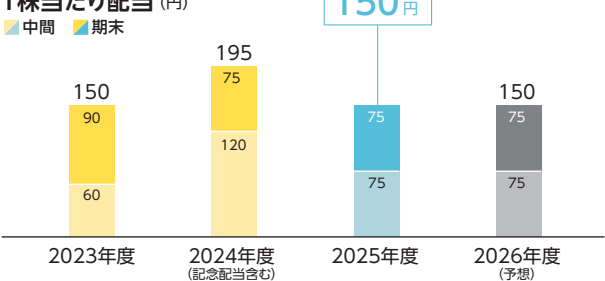
経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



1株当たり配当 (円)



マースグループは、アミューズメント関連事業を中核事業として以下の子会社で構成され、アミューズメント関連、スマートソリューション関連、ホテル・レストラン関連の3つの事業を展開しています。

持株会社

株式会社 マースグループホールディングス

アミューズメント機器
製造販売事業

株式会社 マースエンジニアリング



金属加工事業
株式会社 マーステクノファクトリー



アミューズメント機器
販売事業

株式会社 マースシステムズ東日本

株式会社 マースシステムズ西日本

自動認識・
X線関連事業

株式会社 マーストークンソリューション



自動認識関連事業(中国)
マーストークン(上海)

関連会社(タイ)
Freewill-Mars Tohken

ファイナンス・
不動産事業

株式会社 マースコーポレーション

株式会社 マースコーポレーション

データ管理・
ネットワーク事業

株式会社 マースネットワークス



メカトロニクス事業

株式会社 マースウインテック



ホテル・
レストラン関連事業

株式会社 マースプランニング

Mars Garden Hotel
HAKATA



株式及び会社情報

株式の状況

(2026年3月31日現在)

発行株式数及び株主数

発行可能株式総数	6,762万株
発行済株式の総数	2,272万株
株主数	24,938名

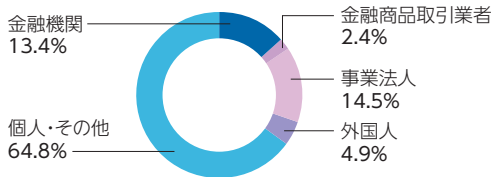
大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
㈱イー・エムプランニング	2,170	9.55
日本マスタートラスト信託銀行㈱(信託口)	1,828	8.05
松波明宏	680	2.99
㈱きらぼし銀行	663	2.92
公益財団法人マース奨学財団	500	2.20
松波廣和	480	2.11
松波香代子	480	2.11
永井美香	432	1.90
㈱日本カストディ銀行(信託口)	406	1.79
㈱三共	377	1.66

※上記の他、自己株式が4,271千株あります。

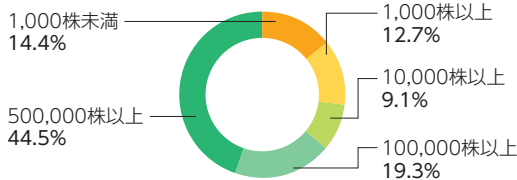
所有者別分布状況

(2026年3月31日現在)



所有株数別分布状況

(2026年3月31日現在)



会社概要

(2026年3月31日現在)

商号	株式会社マースグループホールディングス (Mars Group Holdings Corporation)
本社所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿一丁目10番7号
設立年月日	1974年9月13日
主な事業	グループ会社の統括・管理
資本金	7,934,100,000円
従業員	627名(連結ベース)

役員

(2026年6月25日現在)

代表取締役社長	松波 明宏	常勤監査役	中野尾 維也
取締役	高橋 丈治	監査役(社外)	寺脇 由紀
取締役(社外)	奥村 雅史	監査役(社外)	清水 顕
取締役(社外)	田中 博尊		

グループ会社

(2026年6月25日現在)

● アミューズメント関連事業

- 株式会社マースエンジニアリング
- 株式会社マースシステムズ東日本
- 株式会社マースシステムズ西日本
- 株式会社マースコーポレーション
- 株式会社マースネットワークス
- 株式会社マースウインテック^{※1}
- 株式会社マーステクノファクトリー^{※2}

※1 2つの事業で活動を展開
※2 非連結会社

● スマートソリューション関連事業

- 株式会社マーストークンソリューション
- 株式会社マースウインテック^{※1}
- 株式会社マーストークン(上海)^{※2}

● ホテル・レストラン関連事業

- 株式会社マースプランニング



マース探検にGo!

Stage—28 株主優待制度を拡充!

株主の皆様への日頃の感謝の気持ちとして、2026年3月末基準より株主優待制度を拡充しました。長く保有いただくほどお楽しみいただける優待に加え、当社グループのホテル・レストランを体験いただける特典もご用意しています。

ポイント 1

継続保有3年以上で、優待がグレードアップ!

(3月末基準)

保有株式数	3年未満	3年以上
100株以上500株未満	QUO カード (1,000円相当)	同左
500株以上1,000株未満	地方特産品カタログ (3,000円相当) マースプランニング割引券	地方特産品カタログ (5,000円相当) マースプランニング割引券
1,000株以上	地方特産品カタログ (5,000円相当) マースプランニング割引券	地方特産品カタログ (8,000円相当) マースプランニング割引券



ポイント 2

ホテル・レストランで使える特典を新たに追加

カタログの中から、当社施設でご利用いただける「商品券」が選べるようになりました。さらに、500株以上の株主様には、施設利用の「割引券」を進呈いたします。



ポイント 3

株主優待を年1回から年2回へ拡充!

優待基準日	優待内容
3月末	カタログギフト／QUOカード／割引券
9月末 新	オリジナルカレンダー (1,000株以上)

今後も、株主の皆様とのつながりを大切に、長く応援していただける企業グループを目指してまいります。引き続き、マースグループホールディングスにご期待ください。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
	期末配当 毎年3月31日
	中間配当 毎年9月30日 (中間配当を実施する場合)

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関
株主名簿管理人
事務取扱場所
(郵便物送付先)
(電話照会先)
(インターネットホームページURL)

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-782-031 受付時間 9:00~17:00
(土・日・祝日及び12/31~1/3を除く)
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency>

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載します。
URL <https://www.mars-ghd.co.jp/kessan/index.html>
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 東京証券取引所

株主様ご優待のご案内

【優待基準日】3月末

100~499株

(保有期間共通) 1,000円相当のQUOカード

500~999株

(3年未満)
3,000円相当の地方特産品(カタログより選択) + ホテルレストラン割引券
(3年以上)
5,000円相当の地方特産品(カタログより選択) + ホテルレストラン割引券

1,000株~

(3年未満)
5,000円相当の地方特産品(カタログより選択) + ホテルレストラン割引券
(3年以上)
8,000円相当の地方特産品(カタログより選択) + ホテルレストラン割引券

カタログに同封の専用ハガキにてお申込みください。

カタログに関するお問い合わせ先(6月26日より開設)
株主様優待事務局 ☎0120-230-213

【優待基準日】9月末

1,000株~

(保有期間共通) オリジナルカレンダー

当社テレビCM放映中

右記二次元コードよりCMを
ご覧いただけます。



MARS

株式会社 マースグループホールディングス

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-10-7
TEL.03-3352-8555(代) URL: <https://www.mars-ghd.co.jp/>

